

みどり

一般社団法人
群馬県造園建設業協会

〒379-2153
前橋市上大島町25-5
TEL.027-290-2244
FAX.027-290-2245

2023.1.1 No.63

- 発行人／一般社団法人
群馬県造園建設業協会
- 事務局／〒379-2153
群馬県前橋市上大島町25-5
TEL.027-290-2244
FAX.027-290-2245
- 企画・編集／広報委員会
- 表紙写真／協会外構工事

主な内容

年頭ごあいさつ	p2~4
協会ニュース	p4~6
特集・協会外構工事 関東甲信造園建設業協会協議会	p7~8 p9~11
休憩室 町の庭師の手帳より／表彰 活躍する女性技術者たち／編集後記	p12~13
役員・会員名簿	p14~15
緑化技術シリーズ／協賛企業	p16





謹賀新年



一般社団法人
群馬県造園建設業協会

会 長
川島 良則

新年明けましておめでとうございます。
皆様には健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、ウクライナで戦争が始まり世界経済に大変影響を及ぼす時代になってきました。物価高騰ましてやインフラに於いても値上げが相次ぎ、私達業界でも資材の値上げ・品不足といった影響が少なからず出てきています。業務や経営等に著しく影響が及ばないように注意喚起が必要だと思えます。また、コロナに於いては中々終息の兆しは見えてきませんが、人々の生活スタイルが多少変わりつつあると思います。代々の造園は、庭や公園等に自然空間を築き上げ人々にとって快適、安らぎを創出して行く事業です。人混みを避けてゆとりある場所の創出・提案をして行かなければなりません。2029年予定の国体に向けても、ハード面で全国から集まる皆様に憩いの場を提案できる様、今後県とも話し合いをしてニーズにあった公園づくりを提案して行きたいと思っています。

私ども造園業界も人手不足・若手の担い手は早急な課題です。昨年から始めた県内の実業高校・農林大学の出前講座(実技も含め)また以前から行ってきたインターンシップの受け入れも今以上に積極的に取り組みを行っていかねばなりません。また業界として新たな技術・機械等のデモを行い行政の方々にも参加して頂き、導入や歩掛り作りをして行く事が今後の人手不足を解消して行く上での光明となっていくのではと思っています。今後、技術や伝統の継承を我々業界人の大事な役割だと思っていますが、お客様のニーズを的確にとらえられるよう多種多様な方面から情報や技術を取得し、対応できる業界ではなくはなりません。その為、今後講習会・講演会・視察等も含め、より一層の協会の情報の共有化に努めて行きたいと思っています。関係各位の皆様には、引続き当協会に対しまして、ご協力ご指導賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆様や業界にとって実り多き素晴らしい年になりますよう祈念申し上げます新年の挨拶と致します。



群馬県知事

山本 一太

明けまして、おめでとうございます。

群馬県造園建設業協会の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

前年に引き続き、昨年も「新型コロナの抑え込み」と「経済の回復」に全力を注いだ1年でした。同時に、アフターコロナ時代を見据え、新たな富やイノベーションを生み出す政策にも、果敢に取り組みました。

日本の温泉文化をユネスコの無形文化遺産に登録する運動に関しては、全国有数の温泉王国である群馬県が中核となって、与党の国会議員連盟や、知事の会を発足させました。遺産登録に向けた強力な推進体制を整えることが出来たと考えています。加えて、群馬県が、他県より一歩進んだ「災害レジリエンスの強化」や「DXの推進」を打ち出し、次々と政策を実行していることで、本県の存在感や評価は、大きく高まったと感じています。実際、2つの大手企業が群馬県への本社機能の移転を決めました。引き続き、「災害の少なさ」や「首都圏へのアクセスの良さ」などの、本県の魅力や優位性をさらに高めていくため、「災害レジリエンスNo.1」の実現に向けた防災・減災対策や基幹道路の整備など、「ぐんま・県土整備プラン2020」に基づく社会資本の整備と維持管理を着実に推進します。

また、公園・緑地分野においても、地球温暖化の防止、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全のための緑とオープンスペースの確保に向けて、「造園建設業協会」の皆様と連携し、都市公園の整備や都市緑化の推進など、みどり豊かな県土の創出に計画的に取り組んでまいります。4月には、Gメッセ群馬において、初めて誘致に成功した重要な国際会議「G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合」が開催される予定です。群馬県が目指す「デジタル技術による地域課題解決」の推進に大きく弾みをつけると共に、群馬の魅力の世界に向けてアピールする絶好の機会にしたいと考えています。本年も、群馬県が未来ビジョンとして掲げた「誰一人取り残さず、誰もが幸福を実感できる自立分散型の社会の実現」を目指し、知事である私が自ら先頭に立ち、邁進していく決意です。新しい年が皆様にとって、実り多き素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



謹賀新年




群馬県議会議員

中沢 丈一

新年明けましておめでとうございます。

群馬県造園建設業協会の皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は、ロシアのウクライナ侵攻、暴挙に対する経済制裁が要因となり世界の需給バランスが崩れ、小麦等の資源価格の高止まりとなりました。日本も物価が高騰しました。新型コロナウイルス（オミクロン株）第七波では、8月上旬の一日では3,101人の感染者となってしまいました。その後、県内警戒度はレベル1となりましたが収束に向かっていません。県内経済活動も再開に向かってのガイドラインを示していますが、円安は一時150円台までとなり経済状況は渾沌としています。ところで参議院議員選挙がありました。協会の皆様には大変お世話になりました。お陰様で所期の目的を達成することが出来ました。改めて厚くお礼を申し上げます。

さて今年も、近隣諸国の国土の主張が一段と高まる年となる様です。中国は東シナ海に於いて資源開発を活発化しています。台湾を実効支配しようとしています。北朝鮮のミサイル発射はより頻発化の気配です。ロシアは北方領土の交渉を中断しています。ついては、安全保障のあり方、食料の安全保障のあり方を深く議論する年となる様です。

昨年、九月にフィンランド国へ行ってきました。人口65万人首都ヘルシンキには90万人収容の核シェルターが整備されていました。コロナPCR検査より感知率の高いコロナ探知犬を視察調査しました。サウナ文化がユネスコ無形文化遺産に登録された過程を調査しました。

コロナは、ウイズコロナでニューノーマルな時代に入る年となる様です。経済は「円安」で新たな経済環境を構築する年となる様です。日本の温泉文化をユネスコ無形文化遺産に登録のため活動が活発化してきます。

G7デジタル・技術大臣会合が群馬県Gメッセと伊香保温泉で開催されます。そして、国体開催に向かって都市公園、都市緑化のあり方を見直す年にしたいと考えています。

群馬県造園建設業協会の益々のご発展と、皆様のご健勝ご活躍をご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。



群馬県議会議員

久保田 順一郎

平成から令和に年号が変わった翌年の年初よりコロナの流行はパンデミックとして三年越しのコロナ禍となり、現在、第7波から第8波へとオミクロン株の流行は令和5年へと年を超えつつあります。

また、顕著な地球環境の変化は国内外に過去にない大災害をもたらし、台風19号はかつての防災にかかわる土木設計の既成概念を大きく覆しました。一方、ロシアのウクライナ侵略戦争は世界経済ばかりか我々の社会生活を直撃する深刻な高物価経済を地域社会にもたらしています。

また、令和2年以来、コロナで政務活動が大きく制限される間、豚熱の流行は畜産農家に深刻な禍となり、誠に同情の念を否めませんが、政権が変わり発足したデジタル庁は高度通信社会の対応に追いつかず、5Gやマイナンバーをはじめとするデジタル化の波は国内旧システムから新たな社会制度へ構造変革を余儀なくさせています。

結果としてアフターコロナの地域経済再興には脱炭素をはじめ県政の各般に渡る分野へ様々な課題を彷彿させています。新年を迎えまさに歴史的にも大きな時代変革の真ただ中に立たされている新年であります。

しかしながら、3方が狂った独裁国家に囲まれた稀有な位置にある我が国がいつまでもお花畑の国民でいられるわけがないのですが、春には統一地方選挙を迎える中でこれらに立ち向かうためにも業界皆様のご指導・ご支援を戴きながら、どの様な時代になろうともより良い地域社会作りに向けて皆さんと共に引き続きの努力を払ってまいりたいと思えます。

皆様には流行病に負けることのないよう昨年よりもさらに健康にはご留意され、変革の年を乗り越えて頂きますようお願い申し上げます。



謹賀新年



群馬県議会議員

橋爪 洋介

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい一年にどの思いで初日の出に願いを込められたのではないのでしょうか。私自身初当選以来5期20年の節目の年であり、改めて初心を貫き精進してまいりたいと決意しておりますのでご指導の程宜しくお願い申し上げます。

さて、「新型コロナウイルス感染症第8波」、「ロシアによるウクライナ侵攻」、「中台関係」、「原油高」、「急激な円安」等、世界で様々なリスクが渦巻いております。業界においても「慢性的な人材不足」や「働き方改革」への対応など、課題はより複合的なものとなってきています。果敢にその課題解決に向けて日々ご努力されている貴協会、会員企業皆様に心より敬意を表します。

昨年のコロナ第7波あたりからは社会活動も「with（ウイズ）コロナ」を甘受する形で戻ってきました。そのような中、私は群馬県スポーツ協会役員として昨年9月に「とちぎ国体（第77回国民体育大会）」総合開会式に出席してまいりました。7年後には本県においても2巡目の開催が予定されている中で、ハード・ソフト面の準備は急務と言えます。栃木県はその両面の準備を入念にされたようで、会場整備、選手や来県者に対するおもてなしも立派なものでありました。当然に選手のやる気や成績も盛り上がり、良い結果につながりました。更に総合開会式が開催された競技場周辺の街路樹や芝生化整備も訪れる人々に「なごみ やすらぎ 潤い」をもって「もてなし」を提供していた印象です。開催県である栃木県が計画的な長期予算で取り組んだ成果であります。本県も次期「国スポ大会」に向けて同様に計画予算を組むべきものと改めて認識いたしました。また、時代の潮流である「持続可能な開発目標」や「脱炭素社会」を考慮しても不可欠な予算措置ではないのでしょうか。引き続き諸課題含めご教導の程、宜しくお願い申し上げます。

結びに皆様の更なるご活躍とご発展を心よりご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

関東三県公園緑地連絡協議会



11月11日、「関東三県公園緑地連絡協議会茨城県大会」に総勢8人で参加してまいりました。会場は水戸京成ホテル。筆者にとって関東三県公園緑地連絡協議会は初めての経験だったので大変楽しみでした。最初にかの水戸黄門で有名な徳川水戸藩主校弘道館周辺視察。特に印象に残ったのは大手門が近年復元整備されて素晴らしい仕上がりでした。その次は偕楽園の視察で過去に幾度となく拝観しましたが今回は観光ガイド付きで良く説明していただき、最も感銘を受けたのは「陰と陽」の設計デザインで造園技術者にとって知恵を足されたと自負しております。

視察終了後はホテルに戻り協議会で各県より議案は色々発案ありましたが、筆者からは茨城県のスポーツ施設、特に常陸那珂や神栖のサッカー場がグラウンド整備は勿論のこと、周辺の緑化も大変整備されていて（息子が3人サッカーをしていたので知っていた）茨城県造協会員との接点について質問しましたが、民間施設なので特に会員は携わっていないとのことで若干拍子抜けしました。他の議案で興味があったのは栃木県造協より、国交省発注の国道の緑地維持管理業務が希望者がいないので近隣県で受注願いたいとの要望があり、昨今の人手不足やら、業界の縮図を垣間見た気がしました。以上、大変貴重な経験をさせて頂き今回の参加を楽しみにしております。

（株）群馬清風園・木暮 一広

安全衛生大会



令和4年度造園建設業務安全衛生大会が9月8日（木）に開催されました。今年もZOOMを使ったりリモート形式での開催となりました。

講師には、Rita早川労働衛生コンサルタント事務所の早川洋子様を講師としてお招きし「熱中症予防について」の内容で講話を頂きました。造園業は外での作業がメインとなり、気候の影響をかなり受けます。特に昨今の夏場の気温は、命を奪うほどの高温になることもあり、熱中症の予防は

既に各社、非常に気を使っております。今回の講話では、さらに踏み込んだ内容をお話いただき、改めて熱中症に対しての対策を考えることができました。

この安全衛生大会で学んだことを活かし、造園業界全体の安全対策の徹底と、無事故に結び付けたいと思います。(昭和造園土木㈱・石橋 修一)

技能講習会



群馬県造園団体協議会主催の造園技能講習会が7月30日、前橋高等職業訓練校（前橋市石岡町）で開催されました。

8月下旬に開催の1級・2級造園技能検定の為の講習会です。毎年のことですが、灼熱の気温の中、受講生は汗と泥まみれになり、課題の庭作りを行います。講師に分からないことを相談したり、指摘されたことを熱心に聞き取っていました。要素試験（樹種判定）は今年もたくさんの種類を並べ、本番さながらの模擬試験を体験してもらいました。

新たな技能士が増えることで、造園業界の更なる技術技能の発展に結び付き、業界全体の基盤が確かなものになるかと思えます。

(昭和造園土木㈱・石橋 修一)

新技術研修会



群馬県造園建設業協会の樹木伐採に伴って、新技術研修会が6月3日(金)に開催されました。

群馬県から県土整備部都市計画課、道路管理課の職員も見学に参加されました。切株カッターやウッドチップパー、温水除草、マキタの電動工具などの造園に係る新しい技術の試験施工を行いました。参加した方も、見慣れない道具を見て、興味津々と施工状況を観察しておりました。

まだまだ完璧とは言えない部分もありますが、少しずつ浸透しつつある新技術、これからの発展が、造園業界の効率的且つ明るい未来に繋がると思えます。(昭和造園土木㈱・石橋 修一)

春の環境美化運動



令和4年6月4日に、群馬県「春の環境美化月間」に合わせて行われる環境美化活動に参加しました。赤城大沼・覚満淵周辺で行われ、協会員、

会員各社の社員や家族、約70名が参加しました。赤城大沼周辺ということもあり若干肌寒い気温ではありましたが、清掃活動を開始するとすぐに体も温まり、自然に囲まれ気持ちよく活動を行う事が出来ました。終了後は、登山を行うという会員の方もおり、息抜きや家族との交流という点でも非常に有意義な活動になったのではないかと思います。清掃活動が必要ないくらい美しい環境が保たれば一番良いのですが、このような活動を通じて少しでも環境美化への関心が高まってくれることを期待します。(㈱中村造園・中村 一博)

第30回 緑の清掃活動



令和4年11月5日、前橋公園周辺にて、第30回緑の清掃活動を実施しました。前橋市が今一番力を入れて再整備を行っている前橋公園

～広瀬川河畔道路を清掃しました。

当日は天候にも恵まれ、会員約80名が生まれ変わった広瀬川河畔の景色を楽しみながら清掃活動を行いました。清掃ルート途中に新しく植栽された街路樹や広場があるのですが、当協会の会員会社が施工した場所ということもあり、皆さん興味深く観察していました。前橋市の新たな魅力あるスポットとして再生されていく様子を会員やその家族に見て頂きながらの活動となりました。

清掃活動を行うにあたり、当日ご挨拶を頂いた前橋市の吉澤建設部長様、様々な調整をして頂いた前橋市役所の職員の方々に感謝申し上げます。

(㈱中村造園・中村 一博)

勢多農林高校 インターンシップ

今年度群馬県立勢多農林高等学校より、2年生、1年生の生徒が現場実習に来ました。

2年生は9月に、1年生は11月に、共に座学と現場実習を行いました。

現場実習を行う前に、生徒達を協会に集めて、



造園の仕事についての勉強会を行いました。我々が普段どのような仕事を行っているのか、この仕事のよいところ・大変なところなどの話も包み隠さず、資料を見ながら話をしました。生徒達も真剣に話を聞いていました。

その後、各社が現場に連れて行きましたが、生徒達は緊張しながらも頑張っていました。また、1年生の現場実習の時には、協会の青年部に協力して頂き、会館の植栽工事に参加させていただきました。これからも、学生達に造園業は魅力のある仕事と思われるように取り組んでいきたいと思えます。

また、今年度受け入れをして頂いた協会員の皆様、ありがとうございました。

(赤城グリーン(株)・荻原 健)

ホリデーインまえばし



8月21日(日)、新型コロナウイルスの流行によりしばらく中止となっていたホリデーインまえばしですが、感染対策の徹底や来場者5000人上限制等の規制を設けた事で、今年は3年ぶりの開催となりました。

群造協青年部は「装飾コースター教室」で参加して来ました。直径10cm程度の檜材の丸太を厚さ1cm程度にカットし、それを紙ヤスリで擦って表面を滑らかにしたり、ドライフラワー等で彩ったり、子供たちに木材や葉や花に慣れ親しんでもらう事を目的としました。

参加してくれた子供たちにレクチャーしながら作り上げていくのが通例でしたが、今年は新型コロナ感染対策として自宅用作成キットを配布するのみとしました。

用意していた200組分は閉会式を待たず品切れになる盛況ぶりでした。コロナ禍の中でも、今回のように非接触型の参加で安全に造園業界をPR出来た事や、子供たちの夏休みの思い出作りに協力出来た事を大変嬉しく思いました。

(株)高橋造園土木・高橋 俊介)

街路樹剪定士研修会・認定試験



(一社)日本造園建設業協会群馬県支部主催による街路樹剪定士研修会・認定試験が令和4年度は、10月26日(水)、27日(木)に開催されました。

受験者数11名が受講し受検しました。

1日目は9時から17時までで学科研修会で、街路樹に関する講義を受けた後、1時間程の学科試験を受けました。

2日目は実技試験で、午前の部にトウカエデを、午後の部ではイチョウを用いた剪定実技試験が伊勢崎市で行われました。

現在、群馬県では330名以上の街路樹剪定士がおります。街路樹剪定士は、街路樹を守る専門家です。街路樹の健康・美観・機能と効用を守り育てる事をモットーとし、街路樹が統一された樹形で、きれいな街並、景観が保たれる事を目指します。

(新田造園土木(株)・新田 貴大)

黄綬褒章受章祝賀会



当協会前会長の須永敏明氏(共栄緑化(株)/代表取締役)が令和元年秋の褒章、同前副会長の櫻井幹男氏(櫻造園(株)/代表取締役)が令和3年秋の褒章にて、黄綬褒章を受章されました。

これを祝して、令和4年5月20日(金)、ロイヤルチェスター前橋において受章祝賀会を開催致しました。ご両名とも、造園関係業務に精励し、他の人々の模範とされる多大な功績と共に当協会に於いても重要な役職を、長年にわたり歴任されての授与となりました。コロナ禍の影響もあり、参加人数の制限と感染防止対策を施しての祝賀会となりましたが、発起人である当協会川島良則会長の挨拶から始まり、ご来賓(群馬県知事・顧問県議)のご祝辞を頂戴致しました。

祝宴では、なごやかな雰囲気の中、ご縁のある関係者からお二人への祝辞と思い出話が披露されました。今後も後輩達へのご指導、ご鞭撻とご両名の益々のご活躍をご祈念申し上げます。

ご受章誠におめでとうございます。

(熊倉造園土木(株)・熊倉 幹夫)

協会外構工事

令和3年9月、川島会長より協会の駐車場をリニューアルするので青年部で庭の施工をお願いしたいと依頼がありました。

できるだけ大きくならない、虫がつかない、管理が容易であると要望のもとに設計が始まりました。

青年部川島委員長が担当者となり役員で協議を重ねました。庭のコンセプトは「ドライガーデン」としました。選定理由は、「樹木の生長が遅く、管理が容易である。」「海外の樹木と日本の樹木を植栽することにより、多種多様な植栽帯ができる。」「浅間石を用いることで、群馬県の強みをいかした植栽帯ができる。」「以上の3点を踏まえたデザインとしました。

理事会に何度か上程する中でその樹木は大きくなり過ぎるのではとか、フェンスの高さを高くしてほしい、予算はこの位でやってほしい等様々な意見を頂きながら役員で協議を重ねて反映すること約半年かけてようやくデザインが完成しました。

● メインとなる木は協会員からの要望を踏まえてソテツとドラセナを選びました。ソテツやドラセナは数十年前に流行していた木であります。元々は南の地域の樹木ですが気温が上昇しており群馬県の気候でも十分に成長できる樹木であります。最近も洋風住宅が増える中でその見た目や維持管理が容易なことから需要が増している樹木です。

地被類としてアガベ（アメリカーナ）、ロニセラ（シルバースター）、エレモフィラ、コルジリネ（レッドスター）、ヤブラン、ファイリヤブラン、ローズマリー、ラベンダーといったあまり大きくなりすぎずに維持管理が容易な植物を選択しました。

また、群馬県産である浅間石と砂利を使用したデザインとしました。さらに敷地からの転落防止としてフェンスを設置してほしいとの要望からドライガーデンのイメージにあうアメリカンフェンスを計画しました。

施工時期を青年部で協議している中で群馬県立勢多農林高等学校のインターンシップが11月にあるので学生と一緒に施工してみてはどうかという意見があり、一緒に施工するとなりました。



11月14日から16日の3日間で施工を行いました。11月14日の初日は除草作業、フェンスの柱立て、ソテツ、ドラセナの植穴掘削を行いました。掘削する中で予想以上に大きな石が出てきて大変な作業となりました。

2日目はフェンスの設置、ソテツ、ドラセナの植え込みを行いました。今回設置したフェンスは誰も設置したことが無かったのですが、他のフェンス設置経験者を中心として説明書をよく確認しながら試行錯誤の上、無事設置することができました。

この日の午後から勢多農林高等学校の生徒さんが一緒に施工しました。浅間石の洗浄作業や植栽作業、防草シートの設置を一緒に行いました。

最終日、この日は1日高校生の生徒さんと一緒に作業を行いました。防草シートを設置し、地被類を植え込みました。地被類の植え込みは生徒さんをグループ分けして、配置を考えてもらい施工しました。

また、大きめの浅間石を造園屋らしく景石として配置しました。

最後に浅間石を地被類の間に配置し砂利を敷きならし完成することができました。一緒に施工した生徒さんからは楽しかったとの声を頂きました。この経験を活かして造園の分野により興味をもって頂けると幸いです。

普段は自社のみで施工することが多い私たちですが、青年部のメンバーが協力して施工することで普段の仕事とは異なり、新たな発見や施工方法等良い経験となりました。

協会に来た人たちが今回施工した庭を見て興味をもって頂き、今後も協会の庭として皆様に見て頂ければと思います。設計段階から施工までご協力頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。

(有)君島造園・君島 静夫



令和4年度 関東甲信造園建設業協会協議会



令和4年10月22日(土)に関東甲信造園建設業協会協議会を前橋市の群馬会館を会場として、当協会主催で開催しました。コロナ禍もあり、対面での開催は3年ぶりとなります。

会議は分科会方式を採用し、各県の代表者をそれぞれの分科会に分けてテーマに沿って各県毎の状況の発表、その後、議論をしていく形となりました。分科会というコンパクトな議論の場を作ったことで本音を交えたざっくばらんな話し合いが出来たのではないかと思います。各分科会のテーマは以下の3つとしました。

1. 造園協会と行政との関わりについて
2. 人材確保について
3. 協会の話題について

現在、業界が抱える問題や課題、進めている施策等に係るような議論が行われる事を期待しました。

また、例年であれば宿泊を伴う協議会ですが、今回はコロナ禍ということもあり日帰りでの協議会と致しました。時間は短くなりましたが、より集中した議論が出来たのではないかと思います。

今回、前橋市での開催にあたり研修会として

臨江閣庭園の見学を組み込みました。

臨江閣の庭園は24年前に群馬県で開催された都市緑化フェアに合わせて再整備された本格的な日本庭園です。幸いな事に当協会の会員である双葉造園の茂木社長が設計・施工管理を実施されたこともあり現地見学前にプレゼンテーション資料を用いて歴史や設計の経緯など説明をして頂いたため、現地の見学時には各県の方々にもより深い視点で研修をして頂いたのではないかと思います。

研修後には懇親会を開催しましたが、ご多忙の中、来賓として群馬県知事 山本一太様をお迎えすることが出来ました。ご挨拶を賜った際には協会の事業内容へも深くご理解を頂き群馬県としてグリーンインフラへ力を入れていくという心強いお言葉も頂きました。

対面での開催はコロナ禍もあり心配事もたくさんありましたが、各県の方々からも対面での開催を喜んで頂きました。書面には出てこない本音や裏話も対面ならではのでした。総務委員会を中心に各委員会の協力のもと無事に協議会が開催できたことを感謝申し上げます。



<第一分科会> 「造園協会と行政の関わりについて」 担当：技術委員会

協会として行政とどう付き合っていくのか、現状の関わり方について各県の状況について議論を行った。

都道府県	発表内容
群馬県	①県内の5つの都市公園において、防災協定を県内の4造園団体が協力し群馬県造園団体協議会として、H22年3月に締結 活動事例として、3つの都市公園でH29年とR元年に台風の被害による復旧作業の実施 ②クビアカツヤカミキリ対策として、東毛地区での被害木の伐採業務と中毛地区から東毛地区における樹幹注入による防除業務の受注
東京都	①防災協定は都立公園毎に締結し、道路は各建設事務所からの依頼により防災訓練への参加 ②各行事・イベントへの協力、日比谷ガーデニングショーの実行委員会にも所属 ③各自治体の剪定講習会の講師の派遣 ④緑化白書の動向調査協力

都道府県	発 表 内 容
長野県	県との関係性は良好。防災協定は結んでいないが国道は県造協、河川は日造協で対応 ①全国都市緑化フェアの誘致・開催 ②森林県民税を都市緑化に利用 ③信州街中緑宣言 ④街路樹の点検、松本駅へ緑を増やすボランティア活動
埼玉県	①防災協定の締結（震度5以上は待機、大雪・台風対応等） ②県への要望書の提出、翌日新聞掲載 ③協会で指定管理者4つ（埼玉緑地財団法人が内3つ）
千葉県	①防災協定の締結（9月に防災訓練を都市公園で実施） ②各土木事務所の所長に直接要望書の提出。 ③県との合同意見交換会の実施
山梨県	①防災協定の締結（資機材の提供、飲料水の備蓄、大雪・台風対応等） ②県土整備部年1回、建設産業部、国会議員との意見交換会の実施 ③道路法面の緑化の提案（芝生化など） ④知事との意見交換会の実施
神奈川県	①防災協定の締結 ②日造協と共同で要望書の提出「緑化関連公共工事予算及び受注機会の確保と増化」 「造園に係る整備維持工事について造園専門業者及び技能士の在籍する業者への発注」 「街路樹剪定士の積極的活用、元請業者条件」「校庭園庭芝生化の推進」
茨城県	①防災協定の締結（震災後は要請があれば道路や河川も対応） ②緑化推進活動として、緑化祭に全面的に協力
栃木県	県との関係は良好。とちぎ国体の開催 ①防災協定の締結（大雪・台風対応等） ②県内主要道路の清掃活動を協会員により実施（毎月第三土曜） ③総合運動公園の樹木調査し、整備事業に協力 ④クビアカツヤカミキリ対策



<第二分科会> 「人材確保について」担当：広報委員会

造園業界でも人手不足とは無縁ではられない状況の中、どのように人材、若手を確保していくのか施策や課題について議論を行った。

都道府県	発 表 内 容
群馬県	ハローワーク、求人サイト、インターンシップ等を通じて求人を行っているが、現状は厳しい状況 各社でSNS、HPなどを活用し情報を発信 福利厚生充実や仕事環境の改善、働き方改革の推進 情報発信することで就職後のアンマッチがなくなり継続雇用につながる
東京都	H12年～ 都立6校でインターンシップの実施 イベントに見本庭園を出展し業界のPRと剪定講習会の実施 HP、SNSを活用し情報を発信している
長野県	高校へ募集を行っても、就職担当の先生が造園を勧めてくれない 労働環境、採用条件の改善が必須
埼玉県	各社、IT（HP、SNS、採用サイト）等の活用 高校等へものづくりマイスターを派遣し、業界の事をPR 技術力を上げて、魅力あるモノづくりが出来る業界になる必要がある
千葉県	門松づくりの講習を毎年実施し、造園に親しみを持ってもらう 業界としてのイメージアップが急務 インターンシップ等を通じて、若いうちから造園のイメージを良くしてもらう事が大切 イベント等にサンプル庭園を出展する等、造園業会をPRする必要がある 女性が働きやすい環境づくり。報酬の改善
山梨県	県の担い手確保会議、県産連主催の合同企業説明会へ参加 学校への出前講座（剪定や造園）を行い造園業界の仕事内容をPR 協会として広報誌やFacebookを活用し業界全体として造園業界のPR 労働環境、採用条件の改善が必須
神奈川県	農業系高校、専門学校へ就職依頼／職業訓練校へ講師として派遣 県からの補助金（技術の継承）を人材育成へ活用



都道府県	発 表 内 容
茨城県	農業高校（造園科等）へ剪定講習会の実施 外国人技能実習生採用の勉強会の実施（コロナ禍で停止中） 若手女性技術者の座談会を実施し、企業の魅力度向上 働き方改革、各々の技術力アップが重要
栃木県	県産連の人材確保の会議に出席したが、他の業界含め人材確保が課題 造園学校の生徒も減少／新卒採用はどの会社も非常に厳しい

<第三分科会>「協会のお話について」担当：総務委員会

コロナ禍で活動が制限される中、様々な事業活動への取り組みや課題、各県のお話について議論を行った。

群馬県	コロナ禍の影響により、理事会・総会・事業などが中止 昨年より大型スクリーンディスプレイを導入し、リモートでの会議が多い 安全衛生大会もリモートにて開催
東京都	会員の拡大の取り組みについて ・入会金を期間限定で無料にする ・勧誘のチラシを作成 新規入会と再入会とで目標の会員数を達成 東京都の公園協会との「防災訓練」を昨年度から実施 58社（92名）が防災トイレなどの組み立て訓練、施設の点検などに協会として参加
長野県	行政との連携・協力を積極的に行い、要望活動もスムーズに進んでいる 知事（元横浜市の副市長）が主導で、街中の緑化に前向きな予算がついた
埼玉県	全国都市緑化フェアの誘致活動 独自の第三者賠償責任保険のリーフレットを作り、新入会員の拡大へ 協会が1カ所、公園協会と協同で3カ所の指定管理事業を行っている
千葉県	コロナ禍の影響で、この2年間はあまり活動が出来ていない 九十九里海岸の松林は防災・防風林の役割であったが、東日本震災等で被害を受け、県と連携して調査・研究を実施 ナラ枯れの被害が急拡大。県と連携し、調査・対応策を図っている 定期的に公園の遊具の安全点検を実施。遊具の安全点検の専門知識を持つ方を講師に招いて、点検方法も指導してもらっている 若手を集めて技術指導や伝統技術を守るため、協会が門松を作る講習会を開催。また、公募した一般市民用に、ミニ門松の製作体験も実施
山梨県	知事と語る会を実施し、モデル的な並木道を2カ所作る事業が進行中 また県庁前が「石畳」なのだが、一部を改修して「芝生化」に改修。他にも県の施設の芝生化の構想を図っている状況 全国都市緑化フェアの招致活動 若手人材確保のため、造園業の説明や、重機類のデモンストレーションを中学校でPR
神奈川県	コロナ禍の影響で、この2年間はあまり活動が出来ていない 後継者不足、高齢化のため廃業する協会員がある 来年の4月運用を目標に協会ホームページのリニューアル 川崎市が市制100周年に併せ、2024年に全国都市緑化フェアを開催する予定 川崎市が市制100周年に併せ、2024年に全国都市緑化フェアを開催する予定 2024年に協会の50周年を迎える 2027年に横浜市メインで国際園芸博覧会を開催する予定
茨城県	コロナ禍の影響で、この2年間はあまり活動が出来ていない 2月に協会50周年事業として、大洗公園にてマツノザイセンチュウの被害に遭った緑地の復元を実施 6月に50周年記念パーティーの実施／県からの要請で、ナラ枯れ病の調査を行った 県立都市公園（2ヶ所）が「パークPIF方式」で、民間企業の運営が決定 偕楽園の「ウメの剪定」見学会を協会で開催し、冬の風物詩としてPRしたい クビアカツカミキリは、桃の被害が出始めている／ナラ枯れについては急拡大
栃木県	とちぎ国体の開催には、宇都宮市がメイン会場ではあったが、協会全体で協力した 地域貢献として、伐採した木材を、薪として市民に提供した 防災に関して、BCPを推進し、数社取得 クビアカツカミキリ、ナラ枯れの被害が拡大している 県からクビアカツカミキリの対策費用を今年度から予算がついた



Title

憧れも現実とは…

Memo

ここ10年くらいお客様から薪は出ますかと聞かれることが多くなった気がする。

薪ストーブですか？ なかなか薪の準備をするのが大変で…

いずれの方も憧れだった薪ストーブを設置したのは良いが現実は大変なようです…

身体の芯まで温まり暖まった家の中はその予熱で朝も暖房いらす、夜は薪ストーブの炎を眺ながらウイスキー片手に夜長を楽しみ休日はお子さんと一緒に庭先で薪割りを楽しむ… そんな感じに、憧れてましたが、現実はこんなに大変だと思わなかったという方が多い気がします。

お客様曰く、『薪を集めるのに苦労し、薪が乾燥しないうちに薪割作業をしないと硬くて割れなくなっちゃうの

町の庭師の手帳より

で薪割りも忙しいし、あちこち筋肉痛にはなるし、チェーンソーや薪割り機も欲しくなっちゃってけっこうお金がかかりますよ。嫁にあきれられています。』ですって。笑

そんな話を家族にすると、うちの奥殿曰く、『薪ストーブも犬や猫のペットも自分たちで飼うのではなく、友人の家に行った時にペットが居ればかわいいねって言ったり、薪ストーブの炎に癒されたりくらいが丁度よくて自分たちで揃えたり、飼ったりするのは大変だから止めて方が良いつてことだね。欲しいな~と思って生活するくらいが丁度いいつてことよ。』うーん、実に現実的な考え方。笑

そんな話から私が憧れるペットやバイクに自宅ジム等々の欲しいものはすべて遠回しに否定されるいつもの町の庭師でありました。

現実は大変なのであります。笑

(株)山田植物園・山田 進

表彰

おめでとうございます。

群馬県功労者表彰

(株)共栄緑化
代表取締役会長

須永 敏明



群馬県総合表彰

中央群馬工業(株)
代表取締役社長

大山 安



優秀施工者
国土交通大臣顕彰

(株)山田植物園
専務

山田 真



群馬県
優秀技能者表彰

(株)東毛造園土木
代表取締役社長

高橋 俊之



活躍する女性技術者たち



萩原造園土木株式会社
小花 鈴佳

私がこの仕事を選んだ理由は、学生のころから外で働くことに憧れていたからです。

私は幼いころからスポーツをしていて、現在も活動しています。外で遊ぶことが好きな私にとっては、最適な仕事だと思いました。

先輩方の作業は早く、そして丁寧に仕上げられているのを見て、職人という職業がとてもかっこいいと思いました。職人技を間近で見て、あこがれの存在になりました。

仕事を始めた頃、私はわからないことが多く、女性の方も少ないということもあり、不安でいっぱいでした。しかし、他の先輩方が色々教えてくれるおかげで、たくさんの仕事を覚えられました。雨の日や暑い日にお客さんや近所に住む方に、「きれいになった」といわれると、とても嬉しい気持ちになりました。

私はまだ社会人としては未熟ですが、お客さんやほかの方々に喜んでもらえるよう、これからも頑張っていきたいと思います。



前橋園芸株式会社
久保田 未来

この仕事に就いたのは、家業の影響でした。

私の両親と祖父母は花に関わる仕事をしていました。ため、幼い頃から自分も植物を扱う道に進むと決めていました。加えて、動くことや細かい作業が好きな性格を活かしたいと考えた結果、ご縁があり今の会社に勤めています。

お客様の大切なお庭を任せられるので、先輩方の指導も時に厳しく、必要な知識は膨大です。だからこそ、プロとして絶えず成長を実感できるとても良い環境だと思っています。

女性ならではの問題に直面したこともありましたが、周囲に同性が少ないことで、ひどく不安になったのを覚えています。先輩やお客様に気遣っていただいた場面も多々ありましたが、少しずつ解決策を見つけ、今では自分に合った働き方ができるようになりました。

入社からもうすぐ4年、出来ることが増える一方、未熟さを痛感する日々です。未だ若輩者ですが、お客様のご要望に寄り添える職人になれるよう、精進してまいります。



編集後記

ゼロコロナからウィズコロナ、アフターコロナへ。マスクや消毒等で対策しながら、徐々に会議や会食、イベントが再開される様になりつつあります。しかし、まだまだ気が抜けない状況ではありますので臨機応変な対応をしていかなければなりません。仕事においても同様で、群馬県電子納品ポータルサイトの活用が必至であり、すべての発注に対応出来る様になる事を望んでいます。

(新田造園土木株)・新田 貴大

■ (一社) 群馬県造園建設業協会 役員名簿

	氏名	社名	住所	電話番号
相談役	清水 一也	(株)しみづ農園代表取締役会長	高崎市柴崎町1563	027-352-2244
会長	川島 良則	(有)川島植物園代表取締役	館林市岡野町231	0276-72-1940
副会長	木暮 一広	(株)群馬清風園代表取締役	前橋市関根町1-7-14	027-231-3863
	大山 安	中央群馬工業(株)代表取締役	高崎市引間町42-2	027-373-1252
	山田 進	(株)山田植物園代表取締役	太田市安良岡町395-1	0276-22-6007
	北爪 満	(有)富士造園代表取締役	前橋市富士見町時沢3135	027-288-4027
	理事	山田 通明	(株)山梅代表取締役	太田市上小林町226
	荻原 健	赤城グリーン(株)代表取締役	前橋市小神明町459	027-231-0857
	清水 大助	(株)しみづ農園専務取締役	高崎市柴崎町1563	027-352-2244
	君島 静夫	(有)君島造園代表取締役	邑楽郡千代田町新福寺455-1	0276-86-2852
	熊倉 幹夫	熊倉造園土木(株)代表取締役	館林市近藤町2899-14	0276-75-1188
	石川 吉治	(株)新栄造園代表取締役	館林市上三林町乙1592-1	0276-73-4197
	大澤 善昭	丸桑造園(株)代表取締役	邑楽郡千代田町赤岩2561	0276-86-3251
	高橋 俊之	(株)東毛造園土木代表取締役	邑楽郡千代田町福島642	0276-86-2423
	石橋 修一	昭和造園土木(株)代表取締役	前橋市苗ヶ島町858	027-283-2363
	中村 一博	(株)中村造園代表取締役	前橋市富士見町小暮2476-20	027-288-2086
	萩原 信弥	萩原造園土木(株)代表取締役	佐波郡玉村町樋越460-2	0270-65-2757
	小泉 雄作	(株)小泉農園代表取締役	前橋市亀里町147-1	027-265-0594
	櫻井 幹男	櫻造園(株)代表取締役	安中市安中1819	027-381-0144
	新田 貴大	新田造園土木(株)常務取締役	藤岡市譲原1383-1	0274-52-2198
監事	澤口 浩美	(株)力ネサ園代表取締役	太田市熊野町19-1	0276-22-3575
	栗原 良治	山紅緑地(株)代表取締役	前橋市金丸町232	027-269-0250
	川原田 和広	(有)安中造園代表取締役	安中市中秋間1528-1	027-382-1610
	齋藤 仁志	(有)中田計理事務所代表取締役	前橋市西片貝町5丁目18-14	027-243-5757
事務局員	樋口則文子		前橋市上大島町25-5	027-290-2244
	石崎久美子			

■ (一社) 群馬県造園建設業協会 会員名簿 (支部別)

支部	社名	代表者名	住所	〒	電話番号	FAX
東毛支部	(株)金山園	塚本 将成	太田市細谷町124-2	373-0842	0276-32-3715	32-3605
	(有)川島植物園	川島 良則	館林市岡野町231	374-0067	0276-72-1940	73-8319
	(株)共栄緑化	須永 修平	太田市浜町73-12	373-0853	0276-46-3255	46-3242
	熊倉造園土木(株)	熊倉 幹夫	館林市近藤町2899-14	374-0042	0276-75-1188	75-1191
	(株)新栄造園	石川 吉治	館林市上三林町乙1592-1	374-0046	0276-73-4197	72-6840
	増尾造園土木(株)	増尾 雅樹	邑楽郡邑楽町大字篠塚2939	370-0615	0276-88-3237	89-0752
	(株)松島造園土木	松島 和正	太田市宝町871	373-0042	0276-31-6390	31-4803
	丸桑造園(株)	大澤 善昭	邑楽郡千代田町赤岩2561	370-0503	0276-86-3251	86-3438
	(株)山梅	山田 通明	太田市上小林町226	373-0024	0276-22-8551	25-6372
	(株)山田植物園	山田 進	太田市安良岡町395-1	373-0811	0276-22-6007	22-6702
	(株)東毛造園土木	高橋 俊之	邑楽郡千代田町福島642	370-0501	0276-86-2423	86-5188
	(株)野村造園土木	野村 宣栄	邑楽郡千代田町舞木165-1	370-0504	0276-86-3641	86-5921
	(株)クツカク	野口 一雄	太田市大原町2237-15	379-2304	0277-78-2050	78-2004
	(株)群馬緑営	大澤美枝子	邑楽郡千代田町福島442-1	370-0501	0276-86-2428	86-4888
	(株)山晃	山田 篤志	太田市龍舞町4685-3	373-0806	0276-46-2762	49-0150
	(株)丸善造園土木	小沢 正佳	太田市東金井町1880	373-0022	0276-22-1801	26-0217
	(株)森緑造園土木	高橋 光弘	邑楽郡千代田町福島642-45	370-0501	0276-86-2170	86-6285
	(株)力ネサ園	澤口 浩美	太田市熊野町19-1	373-0025	0276-22-3575	25-2028
(有)君島造園	君島 静夫	邑楽郡千代田町新福寺455-1	370-0505	0276-86-2852	86-2630	



なごみ やすらぎ 潤い
 …快適な緑の空間を
 演出します。

支部	社名	代表者名	住所	〒	電話番号	FAX
中毛支部	赤城グリーン(株)	荻原 健	前橋市小神明町459	371-0134	027-231-0857	231-0866
	(株)群馬清風園	木暮 一広	前橋市関根町1-7-14	371-0047	027-231-3863	233-3953
	群馬緑化(株)	岡田 友子	前橋市敷島町248-13	371-0036	027-219-4193	219-4194
	群馬建苗(株)	今井 秀人	前橋市荻窪町426-3	371-0001	027-269-0421	269-0416
	昭和造園土木(株)	石橋 修一	前橋市苗ヶ島町858	371-0241	027-283-2363	283-2399
	(株)中村造園	中村 一博	前橋市富士見町小暮2476-20	371-0103	027-288-2086	288-6306
	萩原造園土木(株)	萩原 信弥	佐波郡玉村町樋越460-2	370-1103	0270-65-2757	65-3781
	(有)双葉造園	茂木 一彦	前橋市大友町3-14-9	371-0847	027-252-4128	253-3513
	前橋園芸(株)	中村敬太郎	前橋市亀里町201-1	379-2147	027-265-3131	265-3132
	(有)青木造園	青木 慎二	前橋市今井町687	379-2116	027-268-3973	268-3974
	(株)高橋造園土木	高橋 副二	前橋市金丸町38	371-0121	027-269-3510	269-2132
	(有)富士造園	北爪 満	前橋市富士見町時沢3135	371-0104	027-288-4027	288-6490
	(株)治田造園土木	治田 貴典	利根郡昭和村大字糸井7612-1	379-1203	0278-24-7356	24-7978
	(株)菊地造園土木	菊地 章博	伊勢崎市田中島町1421-5	372-0802	0270-23-7482	23-5652
	(株)小泉農園	小泉 雄作	前橋市亀里町147-1	379-2147	027-265-0594	265-4482
	(有)藤井造園	藤井 明人	前橋市田口町567-1	371-0048	027-232-8856	232-2644
	(株)英 造園	町田 伸行	前橋市山王町1-38-5	379-2123	027-266-8723	267-0120
	(有)富田造園土木	富田 恭躬	前橋市二之宮町1068	379-2117	027-268-0782	268-5244
山紅緑地(株)	栗原 良治	前橋市金丸町232	371-0121	027-269-0250	269-0098	
紅陵造園(株)	山宮 衛	前橋市青梨子町1617-1	370-3573	027-251-9917	251-9993	

西毛支部	(有)安中造園	川原田和広	安中市中秋間1528-1	379-0103	027-382-1610	382-5397
	群馬庚申園(株)	山口 雄資	藤岡市本郷820-9	375-0023	0274-23-2826	23-2967
	櫻 造園(株)	櫻井 幹男	安中市安中1819	379-0116	027-381-0144	382-5210
	(株)しみづ農園	清水 一秋	高崎市柴崎町1563	370-0035	027-352-2244	352-2236
	多野造園土木(株)	田中 広幸	高崎市吉井町塩川13	370-2134	027-387-5955	387-6818
	中央群馬工業(株)	大山 安	高崎市引間町42-2	370-3517	027-373-1252	372-1977
	新田造園土木(株)	新田 元大	藤岡市譲原1383-1	370-1402	0274-52-2198	52-2155
	飯塚緑地(株)	飯塚 勝	渋川市横堀775番地	377-0206	0279-53-3648	53-3694
	(株)藤松陸	茂木 桂子	多野郡神流町大字万場56-1	370-1504	0274-57-2324	57-2277
	(株)白石植物園	白石 修	富岡市藤木232	370-2307	0274-62-3091	62-3089
	(株)八木造園	岩崎 重雄	高崎市京目町1197	370-0011	027-352-8482	353-1558
	(有)神戸造園	神戸 和徳	甘楽郡下仁田町大字馬山4141-34	370-2603	0274-82-5760	82-5011

令和4年12月1日現在

緑化技術シリーズ

樹勢回復

植物が衰退するのは、様々な要因がある。まず目につくのが、虫害、病害、気象害、その他にも人為的害、近年においては獣害等も増えている。その中でも判りにくいのが土壌障害である。水分不足、水分過多、土性の不適合や肥料の不足等。

樹木は農産物と異なり、時間をかけて生長する。そんな時、過去に勉強した「ドベネックの最小桶」の理論を思い出してほしい。今何が不足しているのか、もう一度原点に戻って考えてみるのが良いと思う。農産物の収量は、最小養分律によって左右されるのであるから、健全な樹木を育てる時、制限因子を早く取り除くことが必要だと言っている。

樹木医 石橋 照夫



ドベネックの最小桶 (樹木医必携より出典)



土壌診断状況

協賛企業



株式会社 ニッパンレンタール

- 前橋営業所 前橋市西片貝町4-5-19
TEL.027-221-3151 FAX.027-243-5507
- 高崎営業所 高崎市下小堀町1472-3
TEL.027-343-8808 FAX.027-343-8309
- 高崎東・藤岡営業所 藤岡市中大塚208-1
TEL.0274-20-1711 FAX.0274-20-1713
- 伊勢崎営業所 伊勢崎市三室町5916
TEL.0270-20-2250 FAX.0270-20-2252
- 渋川営業所 渋川市半田3037-1
TEL.0279-60-5088 FAX.0270-60-5089
- 太田営業所 邑楽郡邑楽町篠塚3473-1
TEL.0276-88-8411 FAX.0276-88-8412
- 足利営業所 栃木県足利市小俣町358-3
TEL.0284-62-5076 FAX.0284-62-5175



NISHIO

西尾レントール株式会社

- 高崎営業所 〒370-1135
群馬県佐波郡玉村町大字板井744-1
電話 0270-65-0391 FAX 0270-65-9206
- 太田営業所 〒370-0314
群馬県太田市新田市野井町999-1
電話 0276-57-4240 FAX 0276-57-4509



株式会社 アクティオ

- 富岡営業所 富岡市黒川645-1
TEL.0274-64-4053 FAX.0274-64-4056
- 高崎営業所 高崎市宮原町10-3
TEL.027-330-3411 FAX.027-330-3401
- 太田営業所 太田市下浜田町369-32
TEL.0276-47-1410 FAX.0276-47-1413
- 前橋営業所 前橋市六供町1391-1
TEL.027-243-9141 FAX.027-243-9144
- 渋川営業所 渋川市白井2340
TEL.0279-60-5522 FAX.0279-60-5523
- 吾妻営業所 吾妻郡東吾妻町松谷129
TEL.0279-67-2291 FAX.0279-67-2293
- 伊勢崎営業所 伊勢崎市粕川町1806
TEL.0270-26-4145 FAX.0270-26-4146

建機レンタル・環境機器・イベントプロデュース
KDEI コーエー株式会社

- 前橋センター/前橋市富士見町時沢106
TEL 027-288-2333 FAX 027-288-7101
- 高崎/高崎市八幡原町208
TEL 027-347-0309 FAX 027-347-4522
- 太田/太田市脇屋町791
TEL 0276-31-1823 FAX 0276-31-5026
- 桐生/桐生市新里町新川753-1
TEL 0277-32-5572 FAX 0277-32-5573
- 沼田/沼田市栄町506-1
TEL 0278-24-5118 FAX 0278-22-5118
- 吾妻/吾妻郡東吾妻町原町203-1
TEL 0279-68-4132 FAX 0279-68-5128
- 長野原/吾妻郡長野原町大字羽根尾546-5
TEL 0279-82-2525 FAX 0279-82-3771
- 富岡/富岡市神農原723-1
TEL 0274-63-5124 FAX 0274-63-7232
- 藤岡/藤岡市大字藤岡2154-1
TEL 0274-24-6034 FAX 0274-24-6035
- 神流町/多野郡神流町大字青梨873-1
TEL 0274-57-2316 FAX 0274-57-3376